

岡山大学

2023 年度 入学試験問題 英語

問 1

1.

【解答】 C

【解説】 睡眠不足による副作用については、第 1 段落第 3 文・4 文・5 文にあるように、

(A) は本文中の a loss of decision making

(B) は本文中の loss of empathy

(D) は increased risk of heart attack

にそれぞれほぼ一致する。(C) は本文中の impulsive behavior と一致しないため不可。

2.

【解答】 B

【解説】 「夜間に目覚めたときに何をするのが一番良いか」については第 5 段落第 3 文・4 文・5 文に記載がある。選択肢(B)は第 5 段落第 4 文・5 文にほぼ一致するが、その他の選択肢は一致しない。

3.

【解答】 靴のサイズがそれぞれの人によって違うように、睡眠も睡眠時間、就寝時刻、夜中睡眠中に目覚める回数など、人によって異なり、同じ人でも年齢を重ねるにつれ変化していく。

【解説】 問の下線部は like を用いた比喩表現。睡眠を靴のサイズに例えており、第 2 段落第 4 文・5 文にその内容が書かれている。

4.

【解答】

(a) 眠りに関する時刻、夜中に起きた回数、合計睡眠時間を大まかに知るの

に役に立つ。

(b) 睡眠の質についてのデータは評価し難く、結果的に誤解を与える可能性がある。

(c) 睡眠アプリのデータを気にしすぎないようにすることと、睡眠の評価が低くても心配しないこと。

【解説】

(a) 第6段落第4文に書かれている。

(b) 第6段落第6文に書かれている。

(c) 第6段落第7文に書かれている。

問2

1.

【解答】自分自身が役に立っていないとか、社会的に全く価値がないと認識している仕事を引き受けている労働者が多く、その数が急速に増加しつつあると唱える理論。

【解説】下線部①の直後(第1段落第1文)が該当箇所。

2.

【解答】B

【解説】Graeberの理論の間違った点については、第5段落(ブルシット・ジョブに雇用されている労働者の割合)、第6段落(ブルシット・ジョブの増加)、第7段落(特定の職業へのブルシット・ジョブの集中)、第8段落(役に立っていると感じる職業とそうでない職業)にそれぞれ書かれている。

3.

【解答】D

【解説】下線部②を含む文は「ほとんどの結果はGraeberの assertion と矛盾する」という意味。6段落目の最終文で「Graeberの prediction と正反対」

という表現があるので、assertion は prediction とほぼ同意と考えられる。
expectation は「予想・期待・見込み」の意味。

4.

【解答】 B

【解説】 第9段落第3文で「自分の仕事が役に立っていると認識することと、個人の心理的な幸福」には関連があることが書かれており、下線部③の直後には「不安や鬱、苦悩に至る」とあることから「幸福への害」を表す選択し B が正解となる。

5.

【解答】

- ・ 経営者から尊重され、励まされていると感じられる場合。
- ・ 仕事で自分自身のアイデアを活かせると感じられる場合。
- ・ 自分の仕事をうまくこなすのに十分な時間があると感じられる場合。
- ・ 経営者や同僚に支えられ、組織の重要な決定や方向性に影響を与えることができると感じられる場合。

【解説】 第10段落第2文、第11段落第1文、第11段落第2文、第11段落第3文にそれぞれ書かれている。

問3

①

【解答例】 I understand that people worry about how they get along with their younger colleagues in an organization such as a company.

【解説】 解答例は

「～との距離の取り方に悩む」 → 「～との付き合い方に悩む」とした。

②

【解答例】 If we have more experience than younger dancers, we sometimes feel

like telling them what to do, but I think it is necessary to let them keep thinking for themselves for a while.

【解説】 解答例は

「何か言いたくなる」 → 「何をすべきか言いたくなる」

「ひとりでもがく」 → 「自分で考える」

とした。

③

【解答例】 When people get a lot of praise, they will look obviously much better and more confident.

【解説】 解答例は

「顔になる」 → 「～に見える」

とした。

問 4

【解答例】

I'd like to change the strict school rule on students' appearances. Now, a lot of students have to wear their school uniform. Dyeing their hair and wearing makeup are also prohibited. I think that students should be free to choose what they want to wear to school and that they can express themselves with their clothing. Some people may say that without a dress code students could wear clothing that is offensive or inappropriate. However, I'm sure that whether there is a dress code or not, we will wear what we know is fine and appropriate in school. Even if there should be some kind of dress code at school, it should not be a strict one, but a realistic one that everyone can follow.